



## G-03 胸膜疾患

きょうまくしゅよう

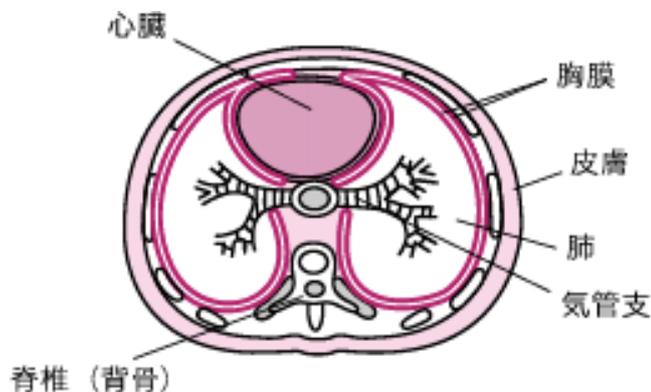
# 胸膜腫瘍

ヒトの胸部は、胸椎（背骨）・肋骨・肋間筋（肋骨の間にある筋肉）・胸骨（前胸部にある骨）などでできている筒のような形（胸壁）の中に肺・心臓などがすっぽりと収まっている構造をしています。胸膜は肺を包む2枚の薄い膜で、肺そのものの表面を包む臓側胸膜（ぞうそくきょうまく）と胸の壁の内側を覆っている壁側胸膜（へきそくきょうまく）とがあります（資料1）。胸膜腫瘍といった場合、肺がんなど隣接する臓器から発生したがん細胞や血流によって遠くの臓器から胸膜に達したがん細胞が胸膜に沿って進展する転移性胸膜腫瘍が大部分を占めます。ここでは、胸膜そのものから発生する原発性胸膜腫瘍について述べます。胸膜は中皮細胞という細胞によってできていますが、この中皮細胞が腫瘍化した場合、胸膜腫瘍とよばれます。良性のものは限局型中皮腫とよばれ命に関わることはまずありません。一方、悪性のものは、胸膜の“がん”と考えて良いものですが、中皮細胞から生じたものは正確には

“がん”と呼ばれず悪性中皮腫と呼ばれます。（資料2）。

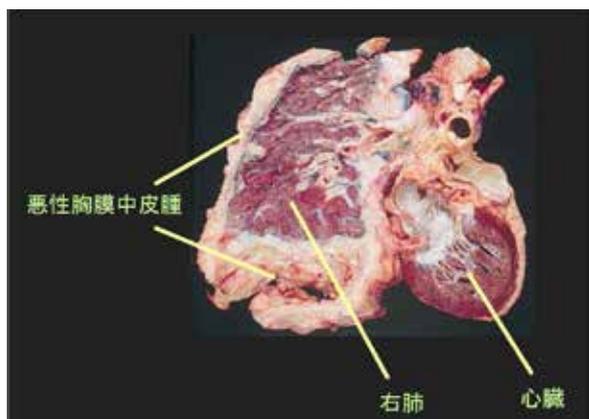
アスベストが悪性胸膜中皮腫の発生と深く関係することが知られています。アスベストというと縁遠いものと思われがちですが、火に強い建築資材やブレーキパッドとして広く使用されてきたものです。石綿というと、理科の実験で石綿金網として見たことがある方も多いと思います。悪性中皮腫は稀な疾患と考えられてきましたが、アスベストを吸入してから悪性中皮腫を発病するまでには30～40年かかるため、これまでにアスベストを建築用資材などとして使用した量を考えると2020年頃に発症のピークが来るものと考えられています。現在、アスベストの使用は原則として禁止されています。

初期には症状に乏しいことが多いのですが、胸膜への浸潤が強くなると胸の痛みやせきが起こることがあります。また、臓側胸膜と壁側胸膜の間に水（胸水と呼びます）が貯まることにより呼吸

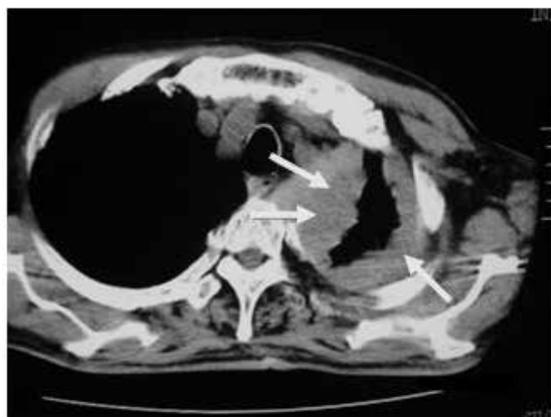


資料1 胸の輪切り図、胸膜

悪性胸膜中皮腫（解剖例）



悪性胸膜中皮腫（胸の横断面、矢印が中皮腫）



資料2 悪性胸膜中皮腫

困難、息切れが起こることもあります。

悪性胸膜中皮腫を疑う所見がある場合には、胸膜生検という胸膜の一部を取る検査が行われます。胸腔鏡という内視鏡（胃カメラのような柔らかなファイバースコープ）で中を観察しながら一部の胸膜を採取する方法がよく行われます。胸腔鏡は、皮膚だけの局所麻酔で行う場合と全身麻酔を行う場合があります。

治療は、病気の進行度などにより異なります。全身状態が良好で切除可能な場合には、がんとその周囲の正常組織の一部を切除する手術、片側肺全体と胸膜、横隔膜、心嚢膜の一部を切除する手術などが行われます。胸膜癒着術といって、化学物質または薬剤を用いて2層の胸膜の間の腔隙（胸

膜腔）に癒着を生じさせることで胸水の貯留を防ぐ方法がとられることもあります。化学療法としてペメトレキセド（商品名アリムタ<sup>TM</sup>）が保険承認され、シスプラチンとの併用で治療されることが増えています。放射線治療も手術や化学療法とともに治療の助けとなります。

悪性胸膜中皮腫は、アスベスト吸入と強い関連があるため、労働災害として労働者災害補償保険法による保険給付を受けることができます。労働者災害補償保険法の対象とならない方でも、「石綿による健康被害の救済に関する法律」による救済給付を受けることができます。詳しくは、都道府県労働局、労働基準監督署などに問い合わせると良いでしょう。

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください！



呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会  
ホームページ

[www.jrs.or.jp/](http://www.jrs.or.jp/)